

金物からビス留めへ

垂木留め用
ビス

特許出願中

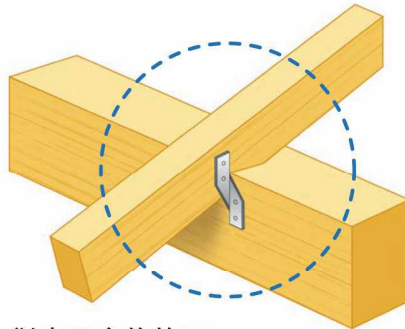
タルキックII



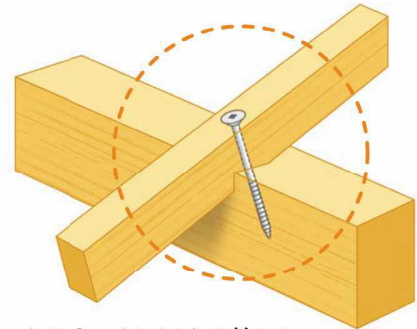
現場からの圧倒的な支持を得ています!

1工程で施工が完了

屋根の作業を軽減!
施工時間を5分の1に短縮



従来の金物施工



タルキックIIによる施工

ひねり金物と同等性能

Zマークひねり金物(ST-12)と同等の耐力を持つ
ので、代替品として安心してお使いいただけます。

専用の特殊先端加工

木割れを防ぎ、堅木でもまっすぐに進みます。

■構造試験による耐力確認

(財)日本住宅・木材技術センター

依24-9



垂木施工

依28-134

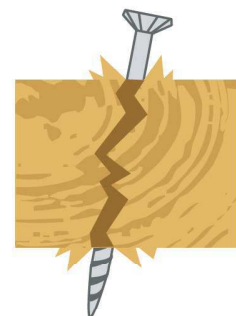


野地上施工

Point!



タルキックII



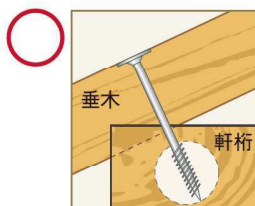
他社一般品

施工方法

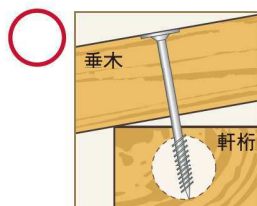
タルキックIIは垂木に対して垂直に打ち込みます。
ネジ部がすべて軒桁に入り込むよう施工してください。

ご確認ください

タルキックIIは中間検査の際に目視が出来ないため、
事前に確認方法の取決めを行ってください。



欠きこみ施工例



ころばし施工例



確認方法例

施工の確認用として
写真等で記録するこ
とをお勧めします。

品確法上の床(屋根)倍率の算定が可能です

品確法で示されている屋根倍率「0.7倍」「0.5倍」を上回ります。さらに垂木の間隔を狭めることで大幅に向上させることが可能です。

⚠️ ご注意 ⚠️

- ご使用の際は、申請書類等に本製品仕様の旨を明記してください。
- 床倍率を算出する際は満たすべき諸条件があり、別紙資料が必要になります。詳しくは当社へお問い合わせください。

■ 評定書

ハウスプラス確認検査(株)
HP評価(木)-19-005



屋根組等の構造方法	存在床(屋根)倍率		
	垂木間隔		
	455mm	303mm	227.5mm
① 幅45mm以上×高さ45~90mmの垂木を、タルキックIIを用いて軒桁・母屋・棟木に接合し、構造用合板12mmをN50釘を用いて150mmの間隔で垂木に打ち付けた屋根組等。	$1.0 \times \cos \theta$	$1.3 \times \cos \theta$	$1.5 \times \cos \theta$
② 幅38mm以上×高さ45~89mmの垂木を、タルキックIIを用いて軒桁・母屋・棟木に接合し、構造用合板12mmをN50釘を用いて150mmの間隔で垂木に打ち付けた屋根組等。	$0.9 \times \cos \theta$	$1.1 \times \cos \theta$	$1.3 \times \cos \theta$

■ 勾配屋根の床(屋根)倍率は、勾配 θ に応じて余弦を乗じ、倍率を低減します。勾配毎の低減率は以下のとおりです。

0寸勾配...1.000 1寸勾配...0.995 2寸勾配...0.981 3寸勾配...0.958 4寸勾配...0.928 5寸勾配...0.894
6寸勾配...0.857 7寸勾配...0.819 8寸勾配...0.781 9寸勾配...0.743 10寸勾配...0.707

詳しくは当社へお問い合わせください



※頭部サイズ刻印入り

品名・記号	対応垂木高さ(mm)	ケース入数	L(mm)	D(mm)	d(mm)	プロイズ S(mm)
TK5×105II	~60.0	100本×6箱	105.0	13.0	5.5	40.0
TK5×120II	~75.0	100本×6箱	120.0	13.0	5.5	40.0
TK5×135II	~90.0	100本×6箱	135.0	13.0	5.5	40.0
TK5×150II	~105.0	100本×6箱	150.0	13.0	5.5	40.0
TK5×165II	~120.0	100本×6箱	165.0	13.0	5.5	40.0
TK6×185II	~140.0	100本×6箱	185.0	13.0	6.0	40.0
TK6×200II	~155.0	100本×6箱	200.0	13.0	6.0	40.0

※No.3四角ビット(両面タイプ)1本/ケース付き

⚠️ 野地上施工の場合は野地合板の厚みを考慮して選定してください。

軒の出がない、軒の出が小さい場合のサイズ選定について

軒の出がない、軒の出が小さい場合、勾配によってはビスの長さが足りなくなる事があります。



詳しくは当社ホームページ製品情報へ